

第8回 気候変動適応近畿広域協議会 議事概要

令和4年8月29日（月）、13時30分～16時30分
オンライン開催

第1部・公開

1. 開会挨拶・出席者紹介

（環境省 近畿地方環境事務所 所長）

（座長 京都大学防災研究所 所長）

2. 気候変動適応近畿広域協議会設置要綱の改定について —事務局—

資料1-1 近畿広域協議会設置要綱（現行）

資料1-2 近畿広域協議会設置要綱（改定案）

3. 令和4年度 広域アクションプラン策定事業近畿地域業務について —近畿地方環境事務所—

資料2 気候変動適応における広域アクションプラン策定事業 近畿地域
令和4年度事業概要

（座長）

普及啓発の企業研究会への参加企業はどれくらいの数があり、研究会の開始当初からは増えているのか。

（事務局）

民間企業の参加数は13企業で、当初から増えていない。今年度についても、13企業に参加いただく予定である。

（座長）

参加企業は、これから増やしていきたいと思っているのか、現在の企業数で十分と思っているのか、どちらか。もう少し熱心に参加企業を募り、参加者を増やしてもらえればより盛り上がるのではないかな。

（事務局）

今年度は、事務局の方から新たに公募や参加への声掛けは行っていない。参加について、広く呼びかけるということは今のところ想定していないが、関心のある企業には是非ご参加いただけるような体制にはしていこうと考えている。

(座長)

適応に関しては、治水対策とも共通するところはあるが、今後は企業と協力して一緒に取り組むということがすごく大事になるので、意識改革も含めて新たに声掛けをお願いしたい。

(事務局)

ご指摘いただき、感謝申し上げます。新たな企業の参加呼びかけについても検討したい。

(座長)

各分科会の進捗や調整状況について、課題等も含めて現状をお話いただきたい。

(事務局)

それぞれの分科会で課題はあるが、部局間連携や関係者の連携を図る部分は共通の課題である。情報共有に留まっている分科会もあるが、関係者に積極的にご参加いただき、部局の壁を超えた適応策に取り組んでいただけるような意識改革を図ってもらえればと考えている。

(座長)

部局間連携の課題については、5年位議論しているのですが、このままだと変わらないと思う。やはり良いプロトタイプを展開することが必要で、現在動き出している各分科会の取組に期待したい。部局間連携のプロトタイプとして想定しているところはあるか。

(事務局)

期待しているのは、気候変動適応センターが中心となった形態だが、近畿にはまだ4つの適応センターしか無く、そのうち2つは昨年度できたばかりである。また、奈良県と和歌山県には適応センターがまだ無いので、是非この環境省事業の中で、部局間連携に取り組んでいただくためのきっかけ作りをできればと考えている。

(座長)

各分科会の連携に関する進捗はどうか。第二部でも話はあると思うが、公開パートでも全般的なこととは情報共有しておいた方が良くはないかと思う。

(事務局)

分科会の中で、一番連携に関して進んでいるのは暑熱対策分科会だと思う。暑熱対策分科会については関係者の連携も結構進んでいるような印象は受ける。お茶対策分科会については、地域連携を行うにあたってのハードルが高く、茶業の産地同士での元々の競合関係も影響していると思う。ゲリラ豪雨対策分科会は、最近では流域治水の取組の中で、連携や国交省関係者の理解も進んできた。

(座長)

省庁間のデマケーション(業務分担)については、昔からの経緯などもあって、適当なところに落ち

着いているが、今後はより前向きな協力関係を構築できるようにしないと、適応も進まないと思う。近畿広域協議会で率先して進めている部分もあるが、全国事業や3分科会など、様々なところから横の連携として繋がるような取組が進めば良いだろう。ただ、プロトタイプが出てこないと具体的に進まない部分もあると思うので、各分科会にも期待したいし、自治体等の関係者からボトムアップ的に進めていただく流れも良いと考える。

4. 情報共有

(1) 環境省気候変動適応室からの情報共有 —環境省 気候変動適応室—

資料3 環境省気候変動適応室からの情報提供

(座長)

ファンドなども含め、色々な資金を利用した形で進めていく取組は良いと思った。発表の中で、短期的な適応策の実施により、長期的な適応策の実施機会を失っているという紹介があったが、具体例があれば教えてほしい。短期的に目の前の対応だけをしていると、長期の準備がおろそかになるというようなイメージで良いのか。

(環境省 気候変動適応室)

IPCC第6次評価報告書の中に、どこまで具体的な事例の記載があるのかは把握できていないが、例えば堤防を作る場合、将来を見据えずに短期的視点だけで投資を行うと、長期的な気候変動に柔軟に対応し辛くなるということが考えられる。変更が容易でないものを短期的な視点で導入してしまうと、将来、気候が変わったときに困ってしまう、柔軟に対応できないということと理解している。

(座長)

治水分野における「手戻りのない適応」もこれにあたるか。

(環境省 気候変動適応室)

あてはまると思う。

(座長)

大変貴重な話をありがとうございました。

(2) 適応ビジネスの事例紹介 — 一般財団法人 日本気象協会—

資料4 日本気象協会における気候変動への取組

(座長)

前提の質問として、紹介いただいた各サービスの普及率、つまりどの程度顧客がいるのかについて教えてほしい。

(一般財団法人日本気象協会)

「熱中症ゼロへ」プロジェクトは、オフィシャルパートナーと協力自治体等を公式ホームページでも公開しているが、併せて100弱(90程度)の規模である。自治体の方には、ホームページから協力自治体登録の申請を行っていただくこともできるので、よろしければご検討いただきたい。eco×ロジは、商品需要予測という形で、資料に記載のある企業向けの取組を以前から行ってきたが、徐々に数も増えてきて、数十というレベルと聞いている。TCFDは、数十のレベルより少ない数で、十は超えているようだが、まだそれほど実施事例は多くないと聞いている。

(座長)

TCFDは、数年前から話題にのぼることが多くなった印象だったが、東証プライム市場の上場企業に対してTCFD対応が義務化されたのは、今日の発表で初めて知った。

(一般財団法人日本気象協会)

義務化は4月からなので、まだ取組としては動き出したばかりの企業が多いかと思う。

(有識者)

物理的な気象の変動に対して、危ないとかリスクだとか言うだけでなく、ビジネスチャンスや経済的なリスクに対して具体的に動き始めていることに興味を持った。今日お集まりの自治体の皆さんは環境政策の分野の方がほとんどだと思うが、単に企業と関係者の情報、企業と日本気象協会との情報と捉えるのではなく、特に地域の中小企業に対して情報提供を行っていく機会になれば良いと感じた。大企業は、独自に気候変動関連の情報も収集し、対策をとっているところが多いと思うが、地方の中小企業には、気候変動によるリスクの啓発が行き届いてない可能性がある。そこで、自治体の環境政策部局が主体となって、地域の中小企業を巻き込んでいく取組や情報提供を行っていく機会が生まれれば良いと感じた。今日の話題提供の内容を他人事だと思わずに、機会があれば経済局等、自治体内の別部局との情報交換などに活用いただければと思う。

(座長)

大切な視点のコメントに感謝申し上げる。参加者の皆さんにとっては、TCFDに関係がないと思われることもあるかと思うが、色々な側面からの関わり方があるように感じている。例えば、地域の企業に対して精緻なハザードマップの情報を提供することも、TCFD対応の重要な点であると思う。TCFD対応を行うことは、環境部局と危機管理部局の連携にも繋がり、中央省庁でも連携の検討は行われているようなので、自治体関係者においても、その流れに後れを取らないよう、率先して活動いただければと考えている。TCFD関連情報の開示については、投資家の投資判断の材料の一つとなるが、今後の適応を進める際には、投資家からの資金提供やファンドなども含め、検討を行っていくことでより良い取組ができる可能性もある。

(チャットによるご意見：有識者)

2022年のグローバルリスク報告書(世界経済フォーラム)で生物多様性喪失が3番目に深刻なリス

クに挙げられており、気候変動適応策のアクションプランにも反映する努力が必要であろう。ただし、生物多様性の喪失リスク回避のためには森、里、街、川、海の連続性再生のように土地利用や行政の境界領域の改善を図る必要があるため、単目的の短期的対策に取り上げにくい。せめて、治水、防災、暑熱、農業等におけるグリーンインフラ導入などの機会に、生物多様性を意識した計画立案を推奨していただきたい。

第2部・非公開

5. 令和4年度 暑熱対策分科会 調査報告及び活動計画について
—日本気象協会関西支社—

資料5 暑熱対策分科会 参考資料（非公開）

6. 令和4年度 お茶対策分科会 調査報告及び活動計画について
—日本気象協会関西支社—

資料6 お茶対策分科会 参考資料（非公開）

7. 令和4年度 ゲリラ豪雨対策分科会 調査報告及び活動計画について
—日本気象協会関西支社—

資料7 ゲリラ豪雨対策分科会 参考資料（非公開）

8. 令和4年度 普及啓発活動 実施状況及び活動計画について
—地域計画建築研究所—

資料8 普及啓発 参考資料（非公開）

9. 意見交換

10. 閉会挨拶 —環境省 気候変動適応室—

配付資料一覧

- ・ 議事次第
- ・ 出席予定者名簿

第1部 公開資料

- ・ 資料1-1 気候変動適応近畿広域協議会設置要綱（現行）
- ・ 資料1-2 気候変動適応近畿広域協議会設置要綱（改定案）
- ・ 資料2 気候変動適応における広域アクションプラン策定事業
近畿地域 令和4年度事業概要
- ・ 資料3 気候変動適応における最新の動向について
- ・ 資料4 適応ビジネスのご紹介
～日本気象協会における気候変動適応への取組～

第2部 非公開資料

- ・ 資料5 暑熱対策分科会 参考資料（非公開）
- ・ 資料6 お茶対策分科会 参考資料（非公開）
- ・ 資料7 ゲリラ豪雨対策分科会 参考資料（非公開）
- ・ 資料8 普及啓発 参考資料（非公開）